

第20回愛媛大学医学部附属病院腫瘍センター講演会/インテンシブコース

がん治療における 『ドラッグ・ラグ』『適応外使用』 について考える

救えるいのちを 救うために

■日時/平成24年3月18日(日) 13:30~16:00

■会場/愛媛県県民文化会館(ひめぎんホール) 会議室

会場案内図は裏面をご覧ください。

<http://www.m.ehime-u.ac.jp/hospital/cancer/seminar/>

■シンポジスト

小児・思春期・若年性がん「ユース・イン・ファミリー」代表 有國 美恵子

NPO法人グループ・ネクサス(悪性リンパ腫患者・家族連絡会) 理事長 天野 慎介

愛媛大学医学部附属病院腫瘍センター 薬師神 芳洋

愛媛新聞社論説委員 早瀬 昌美

■司会進行

NPO法人愛媛がんサポートおれんじの会 理事長 松本 陽子

●『ドラッグ・ラグ』とは…?

新しい薬が開発されてから、治療薬として使用出来るようになるまでの時間差や遅延のこと。日本は欧米に比べ極端に長いことから、転じて、海外で既に使用されている有効な薬が日本ではなかなか認可されない現状を指す。

●『適応外使用』とは…?

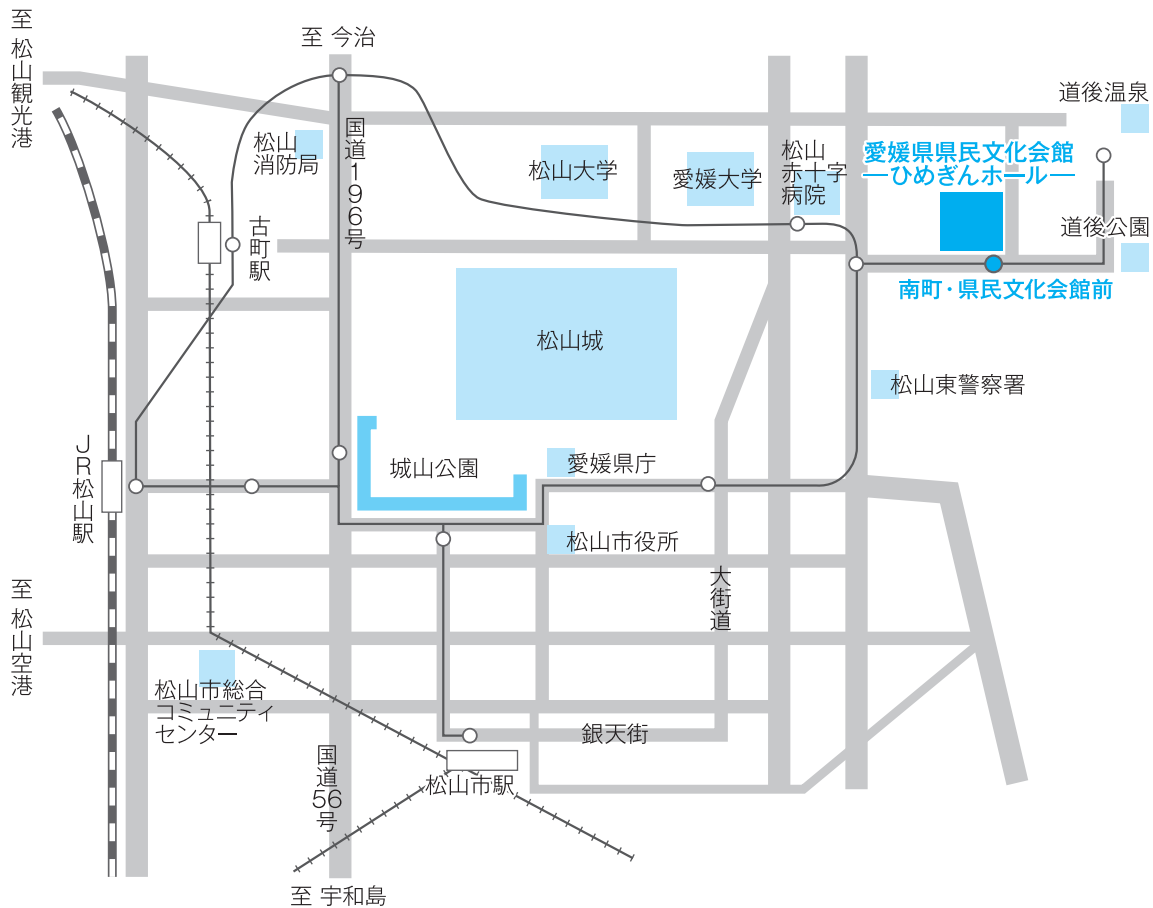
薬事法(国内の法律)で認められていない薬を使用すること、あるいは、認められている効能以外の目的で薬を使用すること。保険診療でないため自由診療(全額負担)。例えば、日本で販売されていない薬を輸入して使用すれば、国内未承認薬の適応外使用。また、国内で販売されている薬でも、国内の法律で認められていない病気に使用すれば適応外使用(自由診療)。

■主催/愛媛大学医学部附属病院腫瘍センター

■共催/NPO法人愛媛がんサポートおれんじの会、中四・四国がんプロ養成コンソーシアム

■後援/愛媛大学医学部附属病院

〈問い合わせ先〉愛媛大学医学部総務課総務チーム(渡部) TEL:089-955-9908 FAX:089-960-5131 E-mail:mesyomu@stu.ehime-u.ac.jp



■会場案内図

愛媛県県民文化会館 一ひめぎんホールー

●JR松山駅から

- 伊予鉄市内電車(道後温泉行)で約15分
南町・県民文化会館前で下車
- 伊予鉄バス(道後温泉駅前行)で約20分
南町・県民文化会館前で下車

●松山市駅から

- 伊予鉄市内電車(道後温泉行)で約10分
南町・県民文化会館前で下車
- 伊予鉄バス(道後温泉駅前行)で約15分
南町・県民文化会館前で下車